

エレベータ研究所とは？

株式会社 エレベータ研究所

経歴

- 日本初のエレベータコンサルティングファームとして、2006年6月開業。
- 2008年4月、株式会社 エレベータ研究所 設立。

本社所在地・連絡先

(1) 本社所在地：大阪府茨木市庄1丁目8番19号

(2) 連絡先：TEL/FAX 072-665-6801

E-mail aoki@ele-life.com

URL <http://lab.ele-life.com>

ミッション

エレベータ業界のイノベータとなって、
理想的なエレベータシステムを実現する。
また、高層ビルには必須の火災時のエレベータ利用避難を実現する。

コアコンピタンス

- (1)顧客の要求に対応した最適なエレベータシステムの設計施工監理ができる技術力。[ここを参照下さい](#) 「複合群管理システム」や「究極のエレベータシステム」を実現するための要素技術は全て弊社が特許取得済であり、他社は弊社の許可なく使用することはできません。
- (2)性能維持メンテナンスによって、顧客の要求に適合したエレベータシステムの運用監理ができる技術力。[ここを参照下さい](#) ビル内の交通量の変化とエレベータシステムの輸送性能を把握して問題解決するには、「複合群管理システム」の適用とエレベータシステムについての総合的な技術力とノウハウが必要であり、弊社以外の他社は実現できません。

エレベータコンサルタント

- エレベータ研究所はエレベータコンサルタントのプロ集団であるが、個々のエレベータコンサルタントは協力して次のような業務を行う。

理想的なエレベータシステム

- 複合群管理システム NUCLEUS (L+A方式) を以下のように進化させる
 - ① Aシステムに可変重量CW方式 (特許第4849651号) を適用して第2ステップの進化 (直通階段の代替手段化) をさせ、
 - ② Lシステムに制動装置 (特許第5441283号) を適用して第3ステップの進化 (ピットレス化) をさせることによって究極のエレベータシステム (詳細はここ) を実現する。
- 更に、据付工程に合わせてモジュール化したのが理想的なエレベータシステムである。

複合群管理システムの必然性

- 高層ビルのエレベータシステムでは、必然的に複合群管理システムが適用されます。[詳細についてはここをご参照下さい。](#)

火災時のエレベータ利用避難

- 火災時に有害な煙に晒されることなく安全・迅速に垂直避難できるEVACUATORの特許(特許第4986193号)を取得。
- 東京消防庁の提唱する避難誘導用エレベータとの相違点については、ここをご参照下さい。不特定多数の利用者がある一般的なビルに適用できるのが、EVACUATORの特長です。